

企画展示

館内では、当財団の研究活動の紹介や、テーマごとに蔵書を紹介する企画展示を行っています。ご来館いただいた際に、ぜひご覧ください。

エントランスギャラリー 1F

自然の聖地と観光
(2020年1月～3月)

世界には、自然そのままの空間が神聖視され、聖地とされている場所が多くあります。こうした自然の聖地と観光との関係について、海外と国内の事例を紹介しながら考えます。



貴重書ギャラリー 1F

1930年代「国際観光ホテル」の時代 (2020年1月～3月)

1930年代に外国人観光客受け入れ態勢整備のために国際観光局が設置助成を決定し、国内主要観光地に誕生した15の「国際観光ホテル」のうち6ホテルを当館所蔵の貴重資料とともに紹介します。



ガーデンラウンジ 1F

「地域情報誌コーナー」を充実

市販のガイドブックにない、とっておきの旅をしてみませんか？1Fガーデンラウンジに、全国から選りすぐりの地域情報誌を集めたコーナーを設置しました。



継続展示中!

- 「旅の図書館オススメの一冊」
- 「旅心を誘う、旅の本のレジェンド30選」
- 「JAPAN」コーナー (海外各国で出版されている日本のガイドブックコーナーです)

展示ウォール B1F

「株式会社DMOという挑戦」(2020年1～3月)
機関誌「観光文化244号」の特集に関連した当館蔵書を紹介しています。

- 「観光と図書館 地域の観光に図書館はどう寄与できるか」(1Fギャラリーより移設)
- 当財団専門委員が選んだ「わたしの一冊」

一度は訪ねたいライブラリー

当館が取材した図書館の中から、観光地の魅力づくりに寄与している各地の図書館や観光に役立つ図書館などを紹介します。

愛知県図書館～当館とコラボ事業を展開

「地域の観光に図書館はどう寄与できるか」…わが国の観光文化の振興、観光による地域の活性化に図書館からアプローチしたこのテーマに、県立図書館としていち早く取り組んでいるところに愛知芸術文化センター愛知県図書館があります。

「金のしゃちほこ」で有名な名古屋城の城郭の一角にある緑に囲まれた同館1階の開放感のあるエントランスフロア(「Yotteko (ヨッテコ)」)では、年間を通して様々な企画展示やイベントが開催されています。そうした企画の一つとして注目されるのが、「二度目の旅は図書館から」という企画事業です。これまで豊橋、田

原、蒲郡といった県が観光振興に重点を置く東三河地域の図書館と連携して、地域の魅力を発信する取り組みを地域の図書館と連携して行っています。県内全市町村の観光パンフレットや地域情報誌などを揃えた「観光情報コーナー」も、他県に先駆けて充実しています。

2019年度の同館の通年テーマは、「列島の結び目～あいちの交通いまむかし」。交通がもたらす旅の楽しさを伝えることを狙いとして、2019年10月から「とっておきの旅」をテーマに当館との連携事業に取り組み、両館がお勧めする本の企画展示や講演会などを実施しました。



愛知県図書館外観



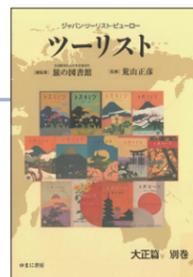
当館とのコラボによる企画展示

充実した観光情報コーナー

Information

刊行物のご案内

当財団では「2019年度観光地経営講座講義録」を刊行しました。また、当館が総監修をしているジャパン・ツーリスト・ビューロー「ツーリスト 大正編」復刻版(全24巻)に別巻が加わりました(ゆまに書房より2019年10月刊行)。



たびとしよ

— 旅の図書館 News Letter —

Vol. 10

2020年1月号



復刻版『ツーリスト 大正篇 別巻』表紙より

「旅の図書館」TOPICS

当館の直近の様子をトピックスとしてお伝えします。

「ツーリズムEXPO2019」で 国内外の最新観光情報を収集!

日本観光振興協会、JATA(日本旅行業協会)、JNTO(日本政府観光局)共催による旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2019」が2019年10月24日から4日間にわたりインデックス大阪・ハイアットリージェンシー大阪を会場に開催されました。今年で6回目を迎え、初の大阪・関西開催となった同イベントには、世界の100カ国・地域と47全都道府県が出展し、来場者数は約15万人を記録しました。

当館は今回も、個人では容易に入手できない各国の政府機関・観光組織等が発行しているオフィシャルガイドブックや地図、パンフレット等を収集してきました。これらは、当館1F「旅の情報コーナー」にて閲覧いただけます。ご来館の際には、ぜひご利用ください。



↓会場風景

→各国から収集した
オフィシャルガイド

第18回たびとしょCafeを開催しました(10/8)

テーマ 「銀座のまちづくり～変わり続けるまちのルール～」

ゲストスピーカー 竹沢えり子氏
(全銀座会・(一社)銀座通連合会・銀座街づくり会議 事務局長)

2019年10月8日(火)、「銀座のまちづくり～変わり続けるまちのルール～」をテーマに、第18回たびとしょCafeを開催しました。ゲストスピーカーには、銀座のまちづくりに長年携わっていらっしゃる、全銀座会・(一社)銀座通連合会・銀座街づくり会議 事務局長の竹沢えり子氏をお招きしました。

銀座は、明治の火事、関東大震災、第二次世界大戦と、たびたび街の姿を大きく変えながらも、「やっぱり銀座はいいわね」と愛され続けてきました。“憧れの街”銀座を支えてきたのは、銀座のみなさんによる「銀座らしさ」の探求と、それを引き継いでいこうという強い意思です。

ここ10年は建物の入れ替わりも激しく、世界から多くの人が集まるようになり、銀座でも大きな変化の時を迎えています。10年後も「やっぱり銀座はいいね」「銀座らしいわね」と言っていたらいいね、取り組んでいきたいとお話いただきました。

地道な取り組みを着実に積み重ね、大切なことを大切にと言い切る銀座のあり方は、全国の各地域にとっても大きな励みになるのではないのでしょうか。



check/ 図書館総合展に参加しました

図書館・出版業界が一堂に集まる展示会「第21回図書館総合展」が2019年11月12～14日の3日間、横浜の「パシフィコ横浜」を会場に開催されました。

当館にとって3年連続参加となるポスターセッションの出展件数は109件と昨年より大幅に増え、専門図書館は当館を含め9館が出展しました。当館の展示テーマは、「観光と図書館～地域の観光に図書館はどう寄与できるか」。当館を少しでも知っていただくとともに、地域の観光振興に図書館が寄与しうる可能性やそのヒントを少しでも多くの来館者にお伝えしたいとの思いでスタッフがブースでのご案内をし、例年以上に多くの方にお立ち寄りいただきました。

ポスターセッションの
当館ブースでの案内

出展社賞
「金剛賞」
「プレインテック賞」を
受賞しました。

旅の図書館オススメの一冊!

最近刊行された図書の中から当館のおすすめをご紹介します!



1 専門図書館探訪 あなたの「知りたい」に応えるガイドブック

青柳英治・長谷川昭子 著 専門図書館協議会 監修
勉誠出版 2019年10月 A4判 223頁

特定分野のテーマを重点的に収集する全国の専門図書館61館のコレクションやサービスの詳細を紹介。当館も含め、個性あふれる専門図書館の魅力がわかる。

2 旅、国境と向き合う

青木怜子 著 論創社 2019年6月 A5判 288頁

船旅、そして航空機の時代へと移り、今では年間3000万人以上の人々が海外から日本を訪れる。グローバル化時代の今、国そして民族とは何かを旅を通して問いかける。

3 温泉・森林浴と健康 自然の癒しから未病予防医学へ

森本兼義・阿岸祐幸 編著 大修館書店 2019年10月 四六判 224頁

ストレス社会において、温泉、森林のもつ健康増進効果、未病・疾病予防、あるいは心身のリラックス効果に関心が集まっている。その様々な健康効果を、科学的な実証データをもとにわかりやすく解説。

4 [フォトミュージアム] ユネスコ 世界の無形文化遺産

マッシモ・チェンティニ 著 岡本千晶 訳 2019年10月 A4変 272頁

代表的な56のユネスコの世界無形文化遺産を迫力ある写真とともに解説。失われやすい伝統を保存することの大切さに気づかされる。

5 はとバス70年史

はとバス 2019年9月 A4判 223頁

東京観光の代名詞的バス会社「はとバス」の70年の歴史が詰まった社史。東京観光の歴史が、黄色いバス車両やバスガイドなどの働く人々の写真を通して、つつかく蘇る。
※画像は社史中の挿絵

6 京都で町家旅館はじめました

山田静 著 双葉社 2019年10月 四六判 272頁

京都にある外国人向けの町家旅館マネージャーによるエッセイガイド。町家旅館を訪れる外国人、町家旅館を支える京都人との交流を通して、京都での日々の暮らしを描き出す。

7 道の駅の経済学 地域社会の振興と経済活性化

松尾隆策・山口三十四 著 勁草書房 2019年8月 A5判 282頁

制度発足後23年間で10倍以上にまで増加した「道の駅」は、日本の経済成長政策の中心的施設として期待されている。道の駅の経済的機能と防災機能について、実証的・計量的に分析解説。

8 サイクルツーリズムの進め方 自転車がつくる豊かな地域

藤本芳一・輪の国びわ湖推進協議会 著 学芸出版社 2019年10月 A5判 208頁

新しい旅のスタイル「サイクルツーリズム」。日本のサイクルツーリズムの聖地の一つ、「びわこ湖一周サイクリング」から、車でもない、徒歩でもない、自転車の旅の魅力と地域再生へのヒントを紹介。

9 方言の地図帳

佐藤亮一 編 講談社 2019年8月 A6判 464頁

「方言は日本人の心のふるさとである」(本書より)。自然・生活・感情・動植物などの「お国ことば」を言語地図から読み解く。日本語の面白さと地域文化の背景がわかる方言の読本。

10 観光と福祉

鳥川崇 編著 成山堂書店 2019年10月 A5判 276頁

2020年東京オリ・パラを契機に進むバリアフリー化。「福祉」を「観光」との接点から捉えて多様な取り組みの現状を紹介し、今後の課題を提起。心のバリアフリーが定着した福祉社会の在り方を考える一冊。